



庄原自治振興区だより

第 168 号 令和 2 年 10 月 20 日 発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目 17 番 15 号
TEL/FAX
(0824) 72 - 3777



災害から尊い命を守る「自主防災活動」に取り組んでいます！！

近年、温暖化に伴う異常気象により、集中豪雨・長雨等で多くの甚大な自然災害が毎年のように発生しています。庄原市においても、近年では平成 22 年の「庄原豪雨災害」をはじめ、平成 30 年度の豪雨災害の発生により、尊い生命や財産が失われています。

本区では、災害から尊い命と貴重な財産を守り「安心安全な地域づくり」をめざして「自主防災活動」をはじめ様々な活動に取り組んでいます。

【わがまち防災マップの作成】

平成 30 年度から全自治会で「防災マップ」の作成をするため、自治会長・自主防災会役員を対象とした研修会の開催、平成 30 年度(宮内自治会)、令和元年度(柳原自治会)をモデル地域として、事前学習会・まち歩き・マップ作成の取り組みを進めています。

令和 2 年度は川手地域を対象(川手中自治会)とします。

(現在作成済み自治会、宮内自治会・柳原自治会・石丸自治会)



【避難の呼びかけ体制づくりに向けた研修会】

令和元年度に広島県が作成した「自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりマニュアル」に基づき、広島県の支援を受けて 1 自治会（自主防災会を対象として「呼びかけ体制づくり」に向け、「避難を呼びかけるタイミング」「呼びかけの方法」「呼びかける順番」等を地域の皆さんで話し合い、「地域での必要なルール」を作る研修会（ワークショップ）を計画しています。



【避難訓練の実施】

「避難の呼びかけ体制づくり研修会」を踏まえて無理のない範囲での「避難に向けた連絡(呼びかけ)」の訓練を行います。

【避難所設置訓練の実施】

昨年度に引き続き、自治会長・市職員が連携して新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた「第 1 避難所開設訓練」を 6 月 26 日実施しました。



● 行中止のお知らせ ●

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、予定していた下記行事を中止いたします。

11 月 7 日(土)・8 日(日)・・・活動報告・作品展

11 月 23 日(月・祝)・・・のろし祭り(のろしリレーのみ実施、イベント無し)



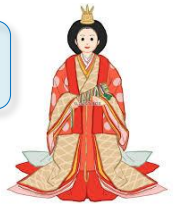
9 月役員会報告

(9 月 23 日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 自治振興センター建設・改修中の活動拠点について
 - ・工事期間中の代替え施設・・・ジョイフル 2 階の空きスペース(旧だて)利用を検討。(本区事務所の移転・間仕切り・費用など、庄原市自治定住課とジョイフルで協議中)
- (2) 地域の歴史文化を継承する取り組みについて
 - ・庄原まちなか協議会連携事業・・・10/25(日)10 時から、楽笑座を起点に歴史散策実施。
- (3) 第 13 回のろし祭りについて(本区主催事業としては中止を決定済)
 - ・庄原市狼煙プロジェクト・・・のろしリレーは小規模で実施する。(イベントはなし)
- (4) 自治会活動報告・・・西県住一光永自治会長、次回は 10 月、大歳県住自治会。



～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.6



シリーズふるさと歴史文化散策 古代1～2の2

《 廃寺 神福寺 》 6世紀中ごろ仏教が伝来(公式記録)します。宗教思想としてよりも装飾文化として、また民衆救済よりも民衆支配のためのものであったといわれています。

渡来してきた帰化人は皇室所属の民となり、特有の識能(生産技術、事務系・工務系識能)を發揮し朝廷強化に役に立ち、中央権力が強くなるにつれ地方豪族は地方役人となり、社会的地位が低下して地方豪族が衰えると、勢力を示す古墳も衰退します。

そして、権威の飾りは古墳から寺院に代わります。天智11(672)年天智天皇の皇位継承をめくり、弟の大海人(おおあま)皇子(天武天皇)と息子の大友皇子(弘文天皇)による争いが起こります。

このときの内乱を、干支(えと)により壬申(じんしん)の乱といいます。この乱に勝利した天武天皇は、寺院の協力をえたことで、一層、仏教を保護し薬師寺や大官大寺(大安寺)を建て、天武天皇の皇后だった持統天皇は、仏教の利用に進み諸国に「金光明経」を分けました。

これは、聖武天皇が天平13(741)年に行った、国分寺政策の先駆けともいえます。こうして地方豪族の中にも、地方に寺院を建てる者が増えてきます。

地誌『芸藩通志』の中に「廃神福寺」が登場し、宮内町にあったとされていますが、発掘調査されていませんので実際のところは判りません。ただ、宮内八幡神社の境内や周辺の耕地で、白鳳時代(大化の改新～平城京遷都までの約60年間)の特徴を持つ、蓮弁軒丸瓦等の古瓦が出土すること、八幡神社の社殿や脇社の礎石や手水鉢(ちょうすばち)が、その大きさ等からかなりの規模を持つ建物(神福寺)に使用されていた石材からの転用ではないかと推測されることから、廃寺の存在なしとは言い切れません。また、大宝元年(701)年に「大宝律令」が定められ、国→郡→里という、中央集権的の地方行政制度が確立されたことや、備後国がはっきりしたのが、天武天皇時代であったことを考えると、宮内町近傍に原始時代の勢力を温存し、庄原盆地における首長の系譜につながる豪族が、地方役人となって権威を誇示するため、畿内地方から最新の情報・技術を入手し、寺院を建てたとしても不思議ではありません。

しかしながら、平安中期に編さんされた、わが国最古の百科事典といわれる『和名類聚抄』(わみょうるいじゅうしょう)によると、古代庄原の東南半分は三上郡(北西半分は恵蘇郡)で、多可(現高町)・信敷・土木・神代(こおじろ、現川手)・三上の五郷がありました。

三上郷は郡名と同じなので郡役所が置かれたと推定でき、そこは現在の本村・上谷町一帯とされていますが、宮内町は三上郷に含まれていません。宮内町が三上郡に含まれることは地形的にも確かですが、いずれの「郷」にも該当しません。したがって、宮内町に郡役所があった可能性は少なく、郡寺級の寺院があったと考えるには無理があります。

また、これだけの規模の建物を造れる可能性のある人物も見つかっていません。

現時点で、廃神福寺は「幻の神福寺」として深い謎に包まれたままです。



サロン活動を再開しました！

— 大黒東自治会 —

始めに、大黒東自治会のサロン紹介をします。

早いもので当地区のサロンが発足して 15 年が過ぎました(H17年発足)、通称を「喜楽サロン」としております。

今も当初と変わらず《笑っていますか、お元気ですか》を合言葉に楽しんでおります。

今回久しぶりに皆さんお揃いになり、元気な姿が拝見でき一安心です。現在コロナ禍で4・5・6月とサロンはお休みになりましたが、7月の庄原においては、コロナの状況が落ち着いたこともあってサロンの再開となりました。

社会福祉協議会様のご指導のもと、有意義なサロン活動となり感謝申し上げます。



地区活動で、快適な環境づくり！

— 川手中自治会 —

去る6月14日(日)午前8時から24名が集会所に集合し、平素集まりの場となる集会所の広場・屋内の清掃、毎日の互いの生活廃棄ごみ置き場(ごみステーション)の錆落とし、ペンキ塗り(うすわかくさ色)などの公衛美化作業を行いました。

また8月23日(日)には、午前7時より『フラワーロード』に、花いっぱいの水仙が来春も咲き続けるよう、みんなで大切に守り育てるため、市道と6支線を32人で、草刈り機・レーキ・ホーキ・鎌などで、午前9時半まで環境美化活動を行いました。



川手上交流サロン「陽だまり」再開！

— 川手上自治会 —

新型コロナウイルス感染防止のため、3月から開催を見合わせしていたサロンを、7月から再開しました。マスク着用や手の消毒など、細心の注意を払って開催、不要不急の外出制限などによる情報不足を補う「おしゃべり」をメインに楽しい時間を過ごしました。

今年の8月は、異常なほどの猛暑のため、参加者は少なめでしたが、前回要望の「頭の体操」を行いました。ビデオの映像を見て県名を当てたり、左右の絵の間違い探しをしたりと楽しみました。短い時間でも、地域の人とのつながりを大切にして、今後もサロン活動を細く長く続けていきたいと思っています。1日でも早くコロナが終息し、あの頃の平常な生活に戻ることを願っています。(集合写真は、平成30年11月に紅葉を楽しむ会を実施した時のものです)



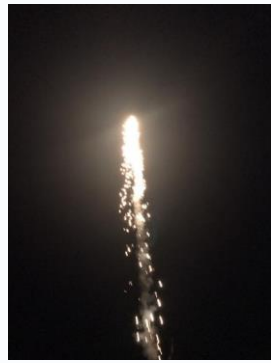
疫病退散花火会 開催!

— 美湯ハイツ自治会 —

新型コロナウイルスの影響で、自治会の大型イベントである夏祭りを中止しました。

子供たちは、夏の思い出となる祭が無くなり、学校は長期休業、夏休みは短縮の中で過ごしています。児童生徒の我慢・努力を励まし、また自治会員の気持ちをコロナウイルス退散の願いで盛り上げることを狙って開催しました。

8月8日(土)、午後7時半から自治会内の保護者宅を中心に、60軒ぐらいが一斉に手持ち花火を家の前で始めました。その後、団地内の3か所から合計20発の花火を打ち上げて、密をさけるため、それぞれの家から多くの皆さんに見てもらいました。



庄原市の紹介DVDを貸し出しします!

昭和54年に制作された、庄原市を紹介するDVDの貸し出しをいたします。
40年前の庄原市にタイムスリップしてみませんか? 地域のサロンや、会議などに、約1時間の鑑賞会はいかがでしょう。

ぜひご利用ください。 申し込み先: 庄原自治振興区 ☎ (0824) 72-3777



11月の振興区主催行事予定

- | | | |
|--------|------------------------|--------|
| 10日(火) | 理事総務企画室合同会議 | 13:30~ |
| 17日(火) | 環境美化防犯パトロール | 9:00~ |
| | (本通・下本町・新道上・新道下の各自治会長) | |
| 24日(火) | 役員会 | 13:30~ |
| | 毎週1回 青少協防犯パトロール | 16:30~ |



編集後記

コロナの新規感染者数が減ってきている。
4・5月の時より対処方法も、格段と進歩したという。マスク・手指消毒・3密回避など、日本の常識が世界に定着してきたようだ。アビガン等の治療薬やワクチンも開発が進んでいる。
一方、インフルエンザの感染者は毎年国内推定1千万人、死亡者約千人、関連死は1万人で死亡者の9割が65歳以上となっている。
このため、庄原市では今回のインフルワクチン接種を、高齢者・幼小児・妊婦は無料などの補助が付いている。高齢者の人は、後の人がスムーズに接種できるように早めの接種をして頂きたいです。

M.M 記